



宮城県古川高等学校 同窓会報



令和6年度 古川高校同窓会事業

国際教育研修の実施報告 (Global Studies Program)



令和7年3月29日(出)から3日間、本校蛍雪会館3階に1年生24名、2年生25名の計49名が参加し、国際教育研修グローバル・スタディズ・プログラムが開催されました。今年度で4回目となり、本年度も同窓会からご支援をいただき、同窓会事業として開催しています。留学生9名、ファシリテーターの外国人講師1名の合計10名が来校し、午前9時から午後4時まで、留学生とはもちろん、参加生徒同士も英語で様々な話題について意見を交わし、最終日には一人ひとりが全員の前でスピーチをしました。今回はこれまでになく大人気の参加となり、会場は常に熱意と笑顔に包まれていました。授業で学んだことを発揮できると同時に授業では学ぶことの出来ないリア

ルな英語力を培えたことや、旅行や留学では出会えない、志高い留学生との交流ができたことは、生徒たちの大きな宝になったと確信しています。今回も同窓会からの多大なご支援のおかげで参加が可能になった生徒が多数います。同窓会の皆様には、心から感謝を申し上げます。ご期待を込めたご支援だということを中心に留め、この経験を今後にかしてほしいと思います。



は学ぶことの出来ないリア



ご挨拶
宮城県古川高等学校同窓会
会長 伊藤 貞嘉 (昭和47年)

古高同窓会の皆様、いか
がお過ごしでしょうか。

平素は同窓会活動にご協力
いただきまして誠にありがと
うございます。同窓会では在
校生を様々な形で支援をして
おります。通常の課外活動の
支援の他に、例えば、国際的
に活躍している現役の方々
とキャリアパスについて議論す
るプログラムや海外からの留
学生と3日間にわたり英語の
みで議論をするプログラムな
どです。同窓会ホームページ
のTopics(2024.
04.16..2024.04.06な
ど)に報告されていますの
で、是非ご覧ください。この

ような活動を通し、在校生が
多くの感動を得、夢を持ち、
熱く持続的な情熱を胸に、挑
戦し、かつ、仲間を大切にし
ながら、大きく成長していくこ
とを望んでいます。今後もし
つかりと母校を支援してい
きたいと思っています。

トランプが米国大統領にな
って、世界中が大混乱で
す。トランプ関税に関する発
言は世界経済を右往左往さ
せ、ロシア・ウクライナ紛争
やイスラエル・パレスチナ
(ハマス)紛争への関与も不
透明な感じが否めません。さ
らに、連邦政府の方針に従わ
ないという理由で、ハーバ



校長あいさつ
宮城県古川高等学校
校長 野中 淳 (昭和62年)

同窓会の皆様には、日頃
より本校の教育活動にさま
ざまな形でご支援ご協力を
賜り、厚く御礼申し上げます。
今年度も何卒、母校で
学ぶ伸びゆく子供たちのた
めにご支援をよろしくお願
いいたします。

申し遅れましたが、この
4月に築館高校から赴任し
ました野中淳と申します。
生まれも育ちも大崎市古川

で古高第39回卒の同窓生で
す。また、平成9年4月か
ら平成19年3月までの11年
間国語の教員としてお世話
になり、最後の3年間は共
学1回生を担任しました。
まもなく創立130年目を
迎える伝統ある古高に再び
勤務することができ、大変
光栄に思っていますと同時に
その重責に身の引き締まる
思いであります。

さて令和7年度は、新入
生240名を迎え、全校生
徒704名でスタートいた
しました。社会は人工知能
の急激な進化をはじめとし
る情報化やグローバル化が
進展し、様々な事象が複雑
さを増し、変化の先行きを
見通すことが一層難しく
なっています。そのような
な社会を生き抜いていくに
は、正解のある問題を早く
正確に解いたり、定まった
手順を効率的にこなしたり
することだけでなく、より
よい未来や新たな価値の創
造に向けて、自ら課題を発

見し、知識や情報を活用し
ながら多様な人々と協働し
て取り組んでいくことがで
きる力が求められます。古
高生には次世代のリーダー
として、平和な社会、幸せ
な社会を実現するため、
「社会の問題を解決し創造
する力」を持った人に成長
してほしいと願っています。
そして、人間の尊厳を
守るため、自分と異なる
価値観もしっかりと受け止
め、理解し、共感し、相手
の立場に立つて考え互いに
支え合いながら、しなやか
に行動できる人になってほ

しいとも思います。
昨年度より同窓生や地域
の方々には「古高サポー
ター」として生徒の探究活
動を支援していただしてい
ます。生徒それぞれが社会
や地域の問題をテーマに掲
げて調査研究を進め、3月
にはその成果を発表しまし
た。論理的思考力と問題発
見・解決能力、社会貢献意
識や地域愛を高めることが
できています。また、台湾
への修学旅行や国際教育研
修「Global Study
Program」を開催
し、外国人と交流するなど

ード大学への補助金(22億ド
ル・約3,200億円)の凍
結を決定するとともに、政治
団体として課税することをほ
めかしています(課税され
るとその何十倍にもなる莫大
な金額)。トランプ政権は、
イスラエル・パレスチナ紛争
に関連して大学等で起こって
いる過激な反ユダヤ活動の温
床が、DEI。「多様性
(Diversity)・公
平性(Equity)・包摂
性(Inclusion)」
に基づく大学の運営・教育で
あると結論付けています。ト
ランプは、DEIは少数派
(人種、性別、性的マイノリ
ティなど)への配慮を重視す
るあまり逆差別になっている
と考へ、連邦政府のDEIプ
ログラムを終了する大統領令
に署名をしました。しかし、

ハーバードに求めた10項目の
要求の中には、学問・学術の
自由の根幹を毀損するような
項目もたくさん含まれていま
す。他の有力大学にも同様な
圧力をかけていますが、それ
に大学側も反発する構図とな
っています。政府が大学を
厳重な監督下に置こうとして
いることに対しては、多くの
有力者が反対の意見を上げて
います。米国内では政治も経
済も教育も混同として来て
おり、トランプを「現代の暴
君」と言っている人もいま
す。今後、トランプ政権はど
うなるのでしょうか。なお、反
ユダヤ主義の問題は紀元前に
端を発しているものの、形を
変えて現代社会でも大きな問
題になっています。人種問題
は根深いものです。

今年度の千支(えと)は乙巳
(きのと・み)です。千支の
「支」の字は十二支の「支」
であり、12種類の動物からな
ります。今年にはへび「巳」年
です。一方、千支の「千」の
字は「十干(じっかん)」と
言って、甲(こう)・きの
え、乙(おつ)・きのと、
丙(へい)・ひのえ、丁(て
い)・ひのと)と10の順番を表
す数値だそうです。これらを
組み合わせるのが千支で、今
年は乙巳(きのと・み)とな
ります。「乙」は草木がくね
りながらもしなやかに成長し
て広がっていくことの象形文
字だそうです。一方、へびは
医療のシンボルにもよく使わ
れ、脱皮しながら成長し、再
生と治癒のシンボルとされて
います。この2つを合わせた
千支である乙巳は「変化と再
生」を意味するそうです。今

年はトランプに振り回される
1年となりそうですが、今年
の千支のように、変化や困難
に柔軟に対応しながら、しな
やかに成長していきたいもの
です。
同窓会の使命は母校の発展
と同窓生の活躍や幸福に寄与
することです。同窓会は立場
や年齢を超えて理解し、協力
し合うことができる組織で
す。同窓会組織とその活動を
もって活発にして、母校を盛
り上げていきたいと思いま
す。ご支援・ご協力のほどを
よろしくお願い致します。
最後になりますが、同窓
会の皆様のご健勝を祈念し
ております。



令和7年度 同窓会奨学生

各学年の成績優秀な生徒に同窓会から奨学金を授与するもの。(1年生は入試成績が抜群なもの。2・3年生は前年度成績優秀なもので、未授与者。金額は6万円)



1年 遠藤 凜人
2年 小野 正晴
3年 松浦 葵

【感謝の言葉】

1年6組 遠藤 凜人

この度は古川高校同窓会奨学生に選抜していただき誠にありがとうございます。先生にこのことを伝えられたとき、私は選ばれたことに驚きと喜びでいっぱいになりました。また、このような名誉をいただきより一層努力に励まなければならぬと身が引き締まる思いです。

私たち1年生が本校に入学してもう2ヶ月が過ぎま

した。先日行われた船形山登山では船形山の広大な自然と触れあひながら同級生との絆を深めることができました。学校での生活にも少しずつ慣れてきており、高校のより高度な学習にもついていけるように頑張ることができています。しかし、6月には初めて受ける定期考査があります。中学校とは異なる日程や形式にはまだ不安が残っています。その不安に負けず、自分の実力を最大限発揮できるように全力で臨む所存です。

最後となりましたが今回このようなまたとない経験をいただけたこと本当にありがとうございます。この名誉に恥じぬよう毎日の努力を怠らず、自主自律の精神を持って行動していきたいと思えます。

【感謝の言葉】

2年6組 小野 正晴

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただき本当にありがとうございます。今後ともこの名に見合った努力を重ねていく責任感を覚え、まさに「心の琴の絃も張る」よう感じています。

この古川高校に入学してから早1年、成功を収め達成感を味わうこともあれば、勉強を始め、部活動や人間関係、進路などで幾度となく壁にぶつかり、その度に自分の力不足を痛感することもありました。しかし、壁にぶつかって得られた

れることも多くありました。今年度はこれまで以上にたくさんの壁に行く手を阻まれることでしよう。それでも決して挫けることなく、壁を乗り越える度に自分の殻を破り、日々成長していきたいと思えます。

【感謝の言葉】

3年2組 松浦 葵

この度は、古川高校同窓会奨学生に選出していただき、本当にありがとうございます。これまでの取り組みが奨学生として評価されたことを大変光栄に思うと共に、このような貴重な機会をいただいたことへの責任の重さを感じております。今後はその期待に応えるべく、より一層努力をして参ります。

古川高校に入学して3年目を迎え、月日の流れの早さを日々実感しています。これまで、志の高い仲間たちと共に学び、多くの経験を積み重ねることができ、私にとって非常に実り多い時間となりました。私は特に部活動を通して、人は人との関わりの中でこそ成長していくのだということを実感しました。この学びは、文

武両道を重んじ、日々努力を重ねる仲間と出会えたからこそ得られたものだと感じています。仲間の姿に刺激を受け、私自身も学業に対して真摯に向き合うことができました。このような環境に身を置くことができたことに、幸せを感じています。今後の進路に向けて、困難に直面することが多数あると思いますが、これまでの経験を糧に、前向きに努力を積み重ねて参ります。最後になりましたが、改めまして、このような貴重な機会を頂けることに心よりお礼申し上げます。今後も周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、日々精進して参ります。

令和7年度 渡邊奨学金



3年 阿部 佳太
伊藤 彩花

※渡邊奨学金は本校高11回卒業生渡邊義之氏の篤志寄付を奨学基金とし、平成28年度より奨学金を給付する。
3年生で東北大学難関国立大学・医学部医学科を志望し有望な生徒に対し、奨学金を授与するもの。(金額は10万円)

【感謝の言葉】

3年6組 阿部 佳太

この度は渡邊奨学生に選んでいただきありがとうございます。古川高校に入学してから2年が経ちますが私の日々の努力が評価されたこと、このような栄誉をいただけたことを大変嬉しく思います。

この奨学金は私にとって単なる金銭的支援にとどまらず、渡邊義之顧問をはじめとする卒業生の皆様の期待と応援の証であると感じています。残された高校生活は決して長くはありませんが、その信頼に応えるべく、より一層の自己研鑽を重ねていきます。今年はいよいよ最大の目標である大学受験を控えた年です。これまでの人生で最も大きなフィールドで戦わねばならない大学受験にあたり今後困難に直面することもあるとは思いますが、そのような時こそ「自主自律」の言葉を胸に私自身に必要な努力を怠らない姿勢を貫き通したいと思っておりますので、皆様には目標を成し遂げる

ところを見守っていただければ幸いです。改めて今回は貴重な機会をいただいたことに心から感謝を申し上げ、今後の決意を新たに精進して参ります。

【感謝の言葉】

3年6組 伊藤 彩花

この度は渡邊奨学生に選んでいただき本当にありがとうございます。

これまで努力を重ねてきた学業が評価され、このような形で認められたことは大きな励みとなりました。私一人の力ではなく支えてくださった先生方や家族、友人の存在があったからこそここまで来ることができたのだと改めて感じております。経済的な支援を受けることで学業により集中できる環境が整い大変ありがたいと感じております。いただいた奨学金は将来の夢に向かって学びを深めるために大切に活用させていただきます。日々の生活の中で自分にできることを見つけ将来に向けて一歩ずつ進んでいきたいと考えております。今後とも体調管理に留意しながら学業に励み自己の成長につなげていく所存です。
この支援に恥じぬよう更に努力を重ねることに貢献できる人間を目指して参ります。改めて本当にありがとうございます。

「蛭雪章」受賞者

令和6年度

蛭雪章

蛭雪章とは、年度ごとに、各種活動で全国大会出場もしくは同等の成績を上げた生徒に贈られる賞で、毎年卒業式(1・2年生は前日)に全校生徒の前で学校長より校章を記した「蛭雪の盾」が授与されるものである。

●第77回全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会
出場 白井 奏羽・佐藤 謙臣・遊佐たまさ

●第59回全日本高等学校
男子ソフトボール選手権大会 出場

佐々木康平・高橋旺士朗・野田 泰生・佐々木尋大
田原悠太郎・伊藤 樹・高橋 雄貴・石田 柊吾
齋藤 丈浩・佐藤 悠基・阿部 暉大・佐々木秀太
菅野 陸斗・佐藤 真大・加藤 暁翔・只野 寛大

●第70回青少年読書感想文全国コンクール
毎日新聞社賞 高橋 里穂

●第79回国民スポーツ大会スケート競技会(スピード)
少年女子2000mリレー 第6位 新沼 清夏

東京蛭雪賞受賞者

前生徒会長 菅原 太智

この度は東京蛭雪賞という名誉ある賞を受賞することができ、大変嬉しく存じます。受賞に際し、このような素晴らしい機会をくださったことに深く感謝申し上げます。私が古川高校で過ごした3年間は毎日が濃く、忘れることができない充実した時間となりました。入学時、私は生徒会長としての素質もない平凡な人間でしたが、日々の学校生活で関わった沢山の方々が私を成長させてくださいました。そのおかげもあって、生徒会長就任後は新たな制度を取り入れた生徒総会や、

東京蛭雪賞

3カ年の本校在学中、生徒会活動・クラブ活動等、高校生活全般にわたって、顕著な功績のあった生徒を称えると共に、後輩生徒の道しるべとなるよう、本校在京同窓会から授与するもの。

仙台蛭雪賞

3カ年の本校在学中、学業成績ならびに生活全般において、特に模範的だった生徒を称えると共に、後輩生徒の道しるべとなるよう、本校在仙同窓会から授与するもの。

岩井副会長考案のペットボトルキャップの回収など、様々な取り組みに力を入れたことができました。特に、同窓会の方々の手厚いご支援があったからこそ、JSBN(キャリア教育プログラム)やGSP(グローバルスタディーズプログラム)などの社会や海外と繋がる活動を開催することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。これからは、生徒会長として培ったリーダーシップや課題解決能力などを生かし、自分だけの道を切り拓いていきたいと思えます。そして、東京蛭雪賞の名に恥じぬよう、精進してまいります。改めて、3年間で関わ

感謝の言葉

前応援団長 米林 大雅

この度は東京蛭雪賞という名誉ある賞を賜り、たいへん光栄に思います。まずは、応援団を運営する上でご支援いただいた応援団幹部および担当の先生、生徒会の皆様に心より感謝申し上げます。

私の高校3年間は振り返ると、充実した生活を形作る上で重要な要素としてやはり応援団はとて大きいものだったと感じます。1年時は指導される側として洗礼を受けて幹部を志すこ

とから始まり、2年時は幹部となり指導する側として活動し始め、10月には応援団長となり古川高校を代表する存在として3年生の定期戦まで活動をしてまいりました。私が常に念頭に置いていたことは、応援団としての使命である伝統の継承、率先垂範、人間修養を果たすことと、応援団の存在意義を思考し続けることです。応援団といえればバンカラで古い遺物と思われることが多い現代で、その存在意義が問われていきます。それに答えるべく、私は仲間と共に試行錯誤しながらこれまでを歩んでまいりました。その軌跡には、きつちりとその答えが刻まれていると確信しております。さまざま困難に直面することもありましたが、この3年間は私にとってかけがえのないものとなりました。最後に、今後は同窓生として今まで受けてきた恩を還元していくとともに、私が抱く目標に向かって日々精進してまいります。改めて、お世話になりました古川高校職員の方々ならびに同窓会の皆様、本当にありがとうございます。

高校3年間の努力がこのような形で認められたことを大変嬉しく思います。この3年間、私は人生の分岐点となるような出来事を多く経験すると共に、大学受験への勉強に力を入れて取り組んでまいりました。グローバルスタディプログラムやJSBNキャリア教育プログラムなど古川高校が開催する行事にも多数参加させていただけいき勉強面だけではなく、人間として大きく成長できたと感じています。また、この3年間で先輩、同級生、後輩とかけがえのない仲間、沢山出会ったことができ、非常に充実した3年間を過ごすことが出来ました。このような環境で過ごすことができたように尽力してくださった先生方、本当にありがとうございました。

設けてくださったことに深く感謝申し上げます。古川高校を卒業した今、高校生活を振り返ると、古川高校での3年間は私を人として大きく成長させてくれたと思えます。部活動では吹奏楽部の一員として、技術面の向上はもちろん、集団の中での役割を考えながら先々を見通して行動する力を養うことができました。また、部活動と並行して、勉強や進路と向き合ってきた3年間でもありました。高校の学習指導要領に基づく勉強を基盤として、自分の興味のある分野の知識を自ら学習するように意識できたと思います。

私がこの3年間、自分のやりたいことに全力で取り組むことができたのは、私自身の力だけでなく、環境に恵まれたおかげです。JSBNをはじめ私たちにたくさんチャンスをくださった同窓会の方々、様々な相談に乗り指導してくださった先生方、3年間で共に走り抜けてくれた友人たち、そして一番近くで私を応援し支えてくれた家族のおかげで、私は最後までやり抜くことができました。本当にありがとうございました。これから周囲の方々への感謝を忘れず、広い視野と向上心を持って励んでまいります。

最後に、今後は同窓生として今まで受けてきた恩を還元していくとともに、私が抱く目標に向かって日々精進してまいります。改めて、お世話になりました古川高校職員の方々ならびに同窓会の皆様、本当にありがとうございます。

私がこの3年間、自分のやりたいことに全力で取り組むことができたのは、私自身の力だけでなく、環境に恵まれたおかげです。JSBNをはじめ私たちにたくさんチャンスをくださった同窓会の方々、様々な相談に乗り指導してくださった先生方、3年間で共に走り抜けてくれた友人たち、そして一番近くで私を応援し支えてくれた家族のおかげで、私は最後までやり抜くことができました。本当にありがとうございました。これから周囲の方々への感謝を忘れず、広い視野と向上心を持って励んでまいります。

3年間を振り返って

仙台蛭雪賞受賞者 相澤 結翔

この度は、仙台蛭雪賞という名誉のある賞を授与して頂きありがとうございます。

環境に恵まれた3年間

戸田 青依

この度は仙台蛭雪賞という栄えある賞を賜りましたこと、非常に光栄に存じます。表彰を通して自分の3年間の努力が認められたように感じており、このような機会を

設けてくださったことに深く感謝申し上げます。古川高校を卒業した今、高校生活を振り返ると、古川高校での3年間は私を人として大きく成長させてくれたと思えます。部活動では吹奏楽部の一員として、技術面の向上はもちろん、集団の中での役割を考えながら先々を見通して行動する力を養うことができました。また、部活動と並行して、勉強や進路と向き合ってきた3年間でもありました。高校の学習指導要領に基づく勉強を基盤として、自分の興味のある分野の知識を自ら学習するように意識できたと思います。



古高同窓会 令和6年度 会計決算書・令和7年度 予算書

I 一般会計

Table with 4 columns: 令和6年度, 令和7年度, 収入予算額, 支出予算額, 差引残高. Values include 5,527,222円, 4,882,294円, etc.

1. 収入の部

Table with 6 columns: 項目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 比較増減, 摘要, 令和7年度予算額, 摘要. Rows include 繰越金, 年会費, 入会金, etc.

2. 支出の部

Table with 6 columns: 項目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 比較増減, 摘要, 令和7年度予算額, 摘要. Rows include 運営費, 事務局経費, 通信費, etc.

II 特別会計 (令和7年度以降は「一般会計」とするため全額払出し)

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 繰越金, 収入決算額, 支出決算額, 差引残高.

III サポート基金 (令和元年度より新設)

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 繰越金, 収入決算額, 支出決算額, 差引残高.

Table with 3 columns: 月日(曜), 事業内容. Lists events from 4/8 to 3/1.

講演では、望遠鏡の要となる直径8メートルを超える巨大な主鏡を、いかにして歪みなく誤差なく制作したか、また完成した巨大鏡をハワイ島までいかに運搬したかといった、技術的な困難を乗り越える過程が詳細に語られました。さらに、遙か彼方の星を観測するロマンについても触れられ、参加者は皆、興味深く聞き入っていました。総会後の懇親会も大いに盛り上がり、盛会のうちに終了いたしました。参加者は旧交を温め、和やかな時間を過ごしました。来年度の同窓会総会は、8月9日(土)にグランド平成にて開催する予定です。詳細が決まり次第、改めて皆様にご案内いたしますので、ぜひご予定ください。

令和6年度の古高同窓会総会は、去る8月10日(土)にグランド平成にて盛大に開催されました。在京古高同窓会会長の伊藤健二様をはじめとする来賓の方々を含む約140名が参加し、旧交を温めました。総会後の記念講演では、当時の世界最大の望遠鏡「すばる」の開発者である三神泉様をお招きしました。三神様には、素晴らしい望遠鏡の開発プロジェクト、そして完成までの波瀾万丈な道のりについて、NHK「プロジェクトX」で放送された当時の貴重な映像を交えながらご講演いただきました。講演では、望遠鏡の要となる直径8メートルを超える巨大な主鏡を、いかにして歪みなく誤差なく制作したか、また完成した巨大鏡をハワイ島までいかに運搬したかといった、技術的な困難を乗り越える過程が詳細に語られました。さらに、遙か彼方の星を観測するロマンについても触れられ、参加者は皆、興味深く聞き入っていました。総会後の懇親会も大いに盛り上がり、盛会のうちに終了いたしました。参加者は旧交を温め、和やかな時間を過ごしました。来年度の同窓会総会は、8月9日(土)にグランド平成にて開催する予定です。詳細が決まり次第、改めて皆様にご案内いたしますので、ぜひご予定ください。

令和6年度 総会開催

支部だより

在京同窓会

副会長兼「蛭雪」編集長
亀井 明
(昭和55年・高32回)

在京同窓会は、年2回の会報「蛭雪」発行と、6月に行う定時総会、および、1月開催の旧古川市内四校(古高、黎明高校(旧古女)、古工、古川学園)合同新年会を軸として活動しております。

令和6年度は6月22日に定時総会が開催され、55名が参加し、オペラ歌手の青木麻菜美さんの公演が彩りを添える形でした。本年1月の4校合同新年会は137名の参加で成功裡に終了いたしました。令和7年度の定時総会は、本紙が発行される直前の6月21日(土)に開催予定で、昭和48年卒の三神泉氏を迎え、「すばる望遠鏡に活きた遊び心」の演題で講演いただくことになっております。来春の四校合同新年会は30回目の節目を迎え、令和8年1月24日(土)にKKRホテル東京で開催予定となっております。

在京同窓会におきましては、伊藤会長のイニシアチブの下、会報「蛭雪」紙面の充実を力を入れております。令和6年度より役員会とは別に「蛭雪編集委員会」を組織して、「会費を払うに値する紙面作り」を目指しており、これが結果的に新規会員の獲得にも繋がるとの共通認識をもって取り組んでおります。同窓会

活動に限らず様々な機会を捉えて、「書いていただけでは内容が読者にとって絶対興味を湧きそうなおB」の掘り起こしを継続的に行って参りますので、その際は是非ご協力をお願いいたします。

関西蛭雪会

事務局長 高橋 達也
(昭和47年・高24回)

昨年12月、コロナ感染拡大の収束に伴い長期中止になっていた同窓会でしたが総数14名出席のもとホテルグランヴィア大阪で開催することができました。母校より伊藤同窓会会長、牛来校長先生、遠藤事務局長をお迎えし古高の近況(大学進学、部活動等)報告に一同熱心に聴き入りしました。懇親会では久しぶりの再会に加え初めて出席した同窓生を迎えられたこともあり以前にもまして賑やかで楽しい会となり最後は校歌斉唱で締め無事総会を終えることができました。今回の長期中止を機に改めて同窓会の大切さを感じ、これからも長く継承していかなければいけないという思いになりました。

県庁同窓会

幹事長 島田 憲一
(平成4年卒、高44回)

県庁古川高校同窓会は、会員数約400名を擁し、県庁内でも随一の会員数を誇り、若手職員から幹部職員まで一体感の取れた唯一無二の同窓会と自負しています。これも偏に諸先輩方の御尽力によるものと感謝しております。

教職員蛭雪会

幹事長 石塚 裕明
(昭和63年・高40回)

本会の会員は、公立高等学校特別支援学校に所属する同窓

生であり、会員数は約200名に上ります。令和6年11月9日(土)、ホテル白秋を会場に、総会・講演会・懇親会を開催しました。講演会では、浅野伸一会長と同級である、仙台大学教授 氏家靖浩氏(昭和60年卒・高37回)をお招きし、『仙台とロッテ プロ野球と地方都市の昔話』と題して、御講演いただきました。地方都市の近現代史を探究する意義と、スポーツと街とのコラボレーションの功罪について豊富な図表を用いてご説明いただきました。祝宴では、母校の伊藤貞嘉同窓会長、牛来拓二校長に御挨拶を賜り、最近の学校の様子や在校生の活躍等を伺うことができました。そして、参加した26名が、母校を懐かしみ、教育への思いを語り合い、交流を深めることができました。校歌斉唱に始まった祝宴は、盛会の中で、今年度は高橋義弘(高36回)新会長のもと、これまでに増して県庁内唯一無二の同窓会となるよう努力してまいります。

県では、人口減少対策やDXによる変革みやぎ、成長産業の誘致・育成など、次代につなげる取り組みに古高同窓生をはじめ県職員一丸となって尽力してまいりますので、引き続き、同窓会会員の皆様、県民の皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

時代の変化とともに、教育を取り巻く環境が厳しさを増す中、蛭雪会の繋がりは、日々教育課題と向き合う会員の心の拠り所として、大切な存在ではないかと思えます。来年度は、さらに多くの会員が、気軽に参加できるように蛭雪会を目指して参りたいと考えております。



令和6年度定時総会におきましては、伊藤会長のイニシアチブの下、会報「蛭雪」紙面の充実を力を入れております。令和6年度より役員会とは別に「蛭雪編集委員会」を組織して、「会費を払うに値する紙面作り」を目指しており、これが結果的に新規会員の獲得にも繋がるとの共通認識をもって取り組んでおります。同窓会

在仙同窓会

幹事長 今野 喜弘
(平成2年・高42回)



在仙古高同窓会では、コロナも落ちつき平時を取り戻した昨年より活動を再開しております。今年度も5月17日

フィナーレとなりました。ですがこれで終わらないのが在仙古高同窓会。会場をホテル下のスコッチバンクへと移し、さらに旧交を温めたのでした。近年では若者の団体離れ、同窓会離れが顕著な中、出席頂いた若手同窓生始め諸先輩方、全ての出席者皆さんに感謝申し上げます。在校生諸君！同窓会って良いもんですよ！

三本木支部(ホーム会)

事務局長 森 毅
(平成2年卒・高42回)



令和6年10月26日、三本木ホーム会総会を三本木町「青柳」にて本校より阿部勝教頭先生、富田俊郎先生、同窓会より塩野隆副会長をお迎えして、総勢23名の参加を頂き、盛會に開催されました。総会では会長の相花俊信会長(昭和41年卒、高18回)の挨拶で幕を開け、ご来賓の皆様よりご挨拶と現役生の活躍、同窓会活動などを報告頂き、その後会計報告などの承認を頂きました。懇親会では参加者より近況報告を頂き、その後も交友を深めさせて頂きました。最後はもちろん皆様で校歌、関南歌、そして当会の歌、「ホーム会歌」を鈴木寿郎(昭和39年、高16回)先輩に解説、音頭を取って頂

ホテルグランテラスを会場に、野中校長、本部同窓会伊藤会長、在京同窓会伊藤会長、県庁同窓会高橋会長始め多数のご来賓をお迎えして、上は12回生から若手は67回生まで老若男女相集い旧交を温めました。オリーブニングは恒例の校歌斉唱から始まり、昨年度の報告及び今年度の予算案の承認を頂いたのち、皆様お待ちかねの懇親会が在京同窓会伊藤会長の乾杯の発声でスタート。今年の出し物は佐藤幹事のご子息でプロバイオリニスト佐藤実治氏の生ライブ。情熱大陸やジャズ等計5曲を堪能しました。そしてこれからの活躍が期待される若手同窓生の紹介と続きました。昨年は63回生から70回生まで10名の出席でしたが、今年は女子1名含む4名と若干寂しさは感じましたが、物怖じしない元気がいっぱいの子に参加者一同パワーを貰うと共に無限の可能性を感じました。そして締めは全員で肩を組んで関南歌斉唱で

き皆さんと歌い、大いに盛り上がりました。
 今後も会員の皆様と交流を深めるべく、企画運営して参り地域も含め、益々盛り上げるように精進して参りたいと思います。

加美支部

事務局長 諸岡 敏裕
 (昭和46年・高23回)



11月1日、年齢差57才の同窓39名(昭和24年卒)が「よつば館」に集いました。また、牛来校長、内海事務局長、望月副会長にもご列席いただきました。

だき、石山敬貴町長(40回卒)からもご挨拶をいただきました。今回の総会には豪華な花が二つ添えられました。まずは高橋安起(11回卒・宮崎地区)先輩の第19回日本スポーツグランプリ受賞です。これまでの空手道の指導実践が評価されたもので総会時には貴重な受賞の盾を持参していただきました。

次に小野田地区からの多額の寄付もあり余裕の総会でした。

加美の総会には参加者中一番若い同窓の開会宣言から始まります。今回は本部役員でもある田中草太(64回

卒)君ですが今年3月の町議選で初当選しています。懇親会は2番目に若い伊藤健文(52回卒)君が乾杯の発声。そしてごちゃごちゃと進む会員間の交流でやはりピークは応援歌です。リードは応援団員だった私です。(声に張りがあるのか先日カラオケスナックで御歳は?と尋ねられました。)

さて、令和4年東北歴史博物館で「知の大冒険 東洋文庫 名品の煌めき」の巡回企画展が開催され会場の案内には「中新田」という文字が書かれていました。実は東洋文庫の蔵書は終戦間際の3月から昭和24年5月26日まで空襲を避けたため加美町に疎開していたのです。これには中新田出身の星斌夫氏(昭和5年卒と同期で1中へ転校)が担当者として深く関わり昭和4年卒の赤松棟四郎氏(運送業)の協力なくして実行できなかつた。そして蔵書を預かった複数の農家は米倉を蔵書優先で大切に扱いました。西小野田小150人の児童にあつては蔵書を背負いあぜ道を歩き米倉まで届け、また、最後の返送時には荷下ろし作業を手伝い加美農蚕学校を卒業した女生徒が赤ん坊を背負って見送ったという記録があります。

星斌夫著「禿筆漫録(東洋文庫蔵書疎開雑記)」より。戦後80年にあたり記録しておきます。

美里支部

事務局長 末永 裕悦
 (昭和52年・高29回)



昨年6月8日、5年ぶりにご来賓をお招きした本来の形で支部総会が開催されました。参加者は総勢27名、28回の若手?の参加も多く、大きな盛り上がりを見せました。役員の見直しも行われ、こちらも若返りが図られました。

7月には暑気払い生ビール大会が行われ、ジョッキを幾杯も重ねながらインターハイ派遣へのカンパにも大いに協力できました。年が明けた3月には総会準備会と称したお花見会を行い、数分で総会期日を決定した後は例にもれず大宴会となりました。

さて、美里支部では事業の一環として本部同窓会への参加費助成を行っています。これが功を奏してか8月の総会には7名が参加、1テーブルを美里支部で占めることができ、楽しいひと時を過ごすことができました。参加者に同級生や知人がいないというような声も聞かれますが、このような個人ではなく団体での参加も有りかなと思います。小さいながらも地道な事業を積み重ね、これからも母校と同窓会の発展の一助になりたいと考えています。

~古高勝利! 四連覇~ 第66回定期戦

4月24日(休)古川高校を会場に第66回紫籐定期戦が行われました。もちろんコロナ前の従来の形式で、盛大に開催することができました。

開会式は、前日の雨の影響もみられましたが、サッカー部をはじめとする多くの古高生が一丸となってグラウンド整備を行い、なんとかグラウンドでの対面形式で開催されました。生徒会長どうしの、お互いを讃え合う(?)挨拶から始まり、両校野球部主将による選手宣誓、両校応援団長エールまで滞りなく行うことができました。両校生徒は、新一年生を加え強力な団結力を発揮し、開会式では古川高校の圧倒的声量、人数に劣る築館高校もまた負けない声量でぶつかり合い、大変感動的な内容でした。競技においては、期日前開催だった男女ソフトテニス、男子バドミントンが惜敗し、0-3からのスタート。開会式直後の綱引きでも男子0-2、女子0-2と通算0-5からのスタートとなり、暗雲が立ちこめます。そんな逆境もものともせず、剣道の快勝で逆襲開始、女子バレーの雪辱と男子バレーの圧勝と勢いに乗る古川高校。しかしここでサッカー・女子卓球が激戦の末惜しくも敗れ、もう1敗もできない状況。インスタグラムを通じて入ってくる野球リードの情報や、女子バスケ快勝の情報も校内放送で紹介され、全校生徒が盛り上がりました。校内で残る男子卓球が激戦中の激戦で、双方譲らず2-2で最後のシングルスを迎えます。第二体育館二階は応援生徒で満員御礼。異常なまでの盛り上がりを見せる中、劣勢を見事に跳ね返した古川高校、ギリギリの大勝利でした。そしてこの時点で7-7、勝敗の行方は古川総合体育館の男子バスケに懸かれます。点差も大きく開くことなく、まさに激戦!! 4ピリまでわずかなリードを守り切った古川高校が辛勝し、その瞬間総合優勝、四連覇が決定し、通算成績を45勝17敗3分としました。

閉会式後の勝利報告会(非公式)も全校生徒で大いに盛り上がり、応援練習に耐えた一年生を讃える姿、「古高で良かった!」と本音を漏らす三年生など、忘れられない、かけがえのない思い出となりました。

対戦結果は表に書いてあるとおりです。



令和6年度 同窓会入会式
 同窓会入会式が開催されました

定期戦対戦結果										
種目	点数		勝敗	種目	点数		勝敗	種目	点数	
	古高	築高			古高	築高			古高	築高
野球	6	1	○	女子バレー	2	1	○	男子バドミントン	0	5
男子テニス	2	3	×	男子卓球	3	2	○	女子バドミントン	5	0
女子テニス	2	3	×	女子卓球	2	2	×	綱引き男子	0	2
男子バスケ	48	38	○	剣道	6	2	○	綱引き女子	0	2
女子バスケ	70	43	○	サッカー	0	0	×	第66回紫籐定期戦 総合優勝古川高校: 8勝7敗		
男子バレー	2	0	○	PK2-PK4						

[令和7年度] 入試合格状況

令和7年3月卒業生の進路状況

	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	大学校	専修各種		就 職		受験準備	その他
						高看	5	公務員	1		
合格者	97	355	0	1	2	高看	5	公務員	1	10	0
進学者	93	115	0	1	1	一般	2	民間	0		

3. 私立大学合格者数(延べ数)

大 学	現役	過卒
北海道科学大	1	
酪農学園大	2	
東北学院大	160	
東北工業大	16	1
東北福祉大	38	
東北医科薬大	7	
宮城学院女子大	14	
石巻専修大	7	
白 鷗 大	4	
国際医療福祉大	2	
獨 協 大	1	
青山学院大	1	
北 里 大	1	
國 學 院 大	1	
専 修 大	2	
中 央 大	6	
東 海 大	3	
東 京 農 業 大	4	
東 洋 大	3	
日 本 大	2	1
法 政 大	6	
明 治 大	1	
神 奈 川 大	6	
同 志 社 大	1	
立 命 館 大	4	
そ の 他 の 大 学	62	5
私 立 大 合 計	355	7

1. 国立大学合格者数

大 学	現役	過卒	現役	
			男	女
帯 広 畜 産 大	1		1	
弘 前 大	1			1
秋 田 大	1			1
岩 手 大	17	1	12	5
東 北 大	7		4	3
宮 城 教 育 大	7		2	5
山 形 大	14	1	9	5
福 島 大	3		3	
茨 城 大	3		3	
筑 波 大	1		1	
宇 都 宮 大	3			3
埼 玉 大	2	1	1	1
千 葉 大	1		1	
東 京 外 国 語 大	1			1
東 京 学 芸 大	1		1	
新 潟 大	3		3	
信 州 大	1		1	
静 岡 大	1		1	
国 立 大 合 計	68	3	43	25

2. 公立大学合格者数

大 学	現役	過卒	現役	
			男	女
釧 路 公 立 大	2		1	1
青 森 公 立 大	1		1	
秋 田 県 立 大	3		3	
秋 田 公 立 美 術 大	1			1
岩 手 県 立 大	4			4
山 形 保 健 医 療 大	1			1
宮 城 大	8	1	3	5
高 崎 経 済 大	6		5	1
長 野 造 形 大	1			1
静 岡 県 立 大	1		1	
高 知 県 立 大	1			1
公 立 大 合 計	29	1	14	15
国 公 立 大 合 計	97	4	57	40

古川高校では、生徒たちの努力と教職員の尽力により、近年の進路実績も着実に成果を挙げております。第77回生の進路実績は、国立大学に68名、公立大学に29名、私立大学に116名が合格しました。最後まで第一志望校を諦めずに努力を重ねた末に勝ち取った素晴らしい結果となりました。難関私立大学や専門分野への進学も多岐にわたり、これらの成果は、在校生の努力に加え、皆さまの温かいご支援と励ましの賜物と心より感謝申し上げます。今後も、生徒たちが希望の進路を実現し、社会で活躍できるよう、教育環境のさらなる充実に努めて参ります。つきましては、引き続き皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年度 古川高等学校同窓会総会のご案内

日時 令和7年8月9日(土)

日程

場所 グランド平成
大崎市古川駅前大通5丁目3-2
TEL 0229-23-6363

会費 6,000円
(懇親会代含む)

※57回生以降の方は半額の3,000円



13:00~	総 会 当番幹事 高31・36・41・46・51・56回生
14:40~	講演会 演題 『未 定』 講師 大 山 力 氏 (昭51・高28回生 青森県病院事業管理者 弘前大学医学研究科 特任教授)
16:20~	記念撮影
16:30~	懇親会